

ほっかいどう



北海道が わかる つながる かわる

— 年6回 奇数月にお届けします —



一穴をあけて保存できます

特集 生物多様性を守るために



タンチョウ



ヒダカソウ



シマフクロウ



クシロハナシノブ



道民の財産である豊かな自然環境を大切に育みましょう。

北海道知事 吉野 博史

豊かな自然環境を次の世代へ。

生物多様性の保全は、北海道の未来を育む取り組みです。

私たちの周りには、さまざまな生きものが暮らしています。北海道の豊かな自然環境は、そうした多くの生命に支えられているのです。私たちの暮らしと密接な生物多様性について、一緒に考えてみませんか。



ユウバリコザクラ



オオワシ



レブンアツモリソウ



オジロワシ



アポイクワガタ



イトウ



ヒメギフチョウ

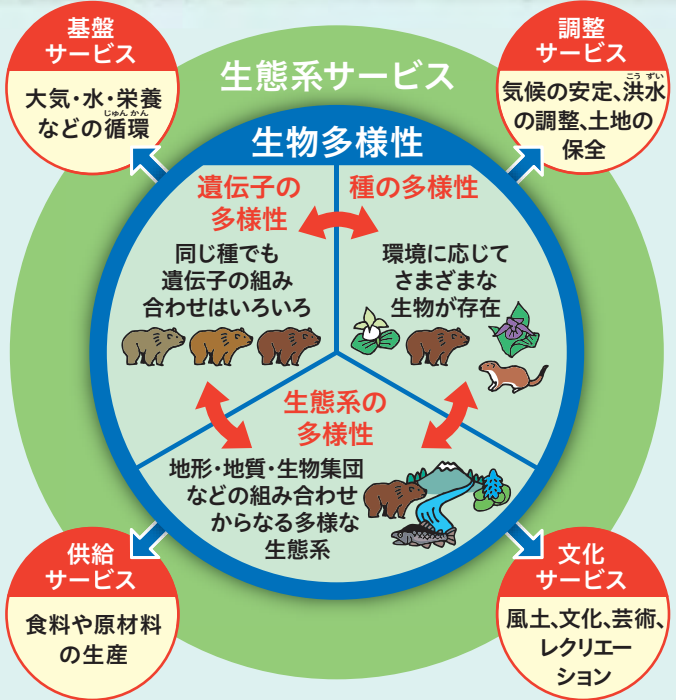
絶滅の恐れのある生きものたち(北海道レッドデータブックによる)

すべての生きものは、つながって生きています。

皆さんは、「生物多様性」という言葉を聞いたことがありますか。地球上に生命が誕生して以来、およそ40億年もの間、地球上の生きものはさまざまな環境の変化や生存競争をくり返して進化してきました。約500万年前に誕生した人類は、地球の長い歴史のほんの一部にすぎないのです。約3,000万種といわれる地球上の多様な生きものは、一つひとつに固有の歴史があり、それぞれが直接的あるいは間接的に支え合って生きています。生物多様性とは、このような「固有性」と「つながり」のことをいい、豊かな自然環境を守っていくうえで大切な考え方なのです。

生物多様性による自然の恵みは、北海道の宝。

生物多様性は、食料などの資源をもたらし、空気や水をきれいにし、気候を調整するなど、私たちの暮らしの基盤をつくっています。また、自然体験やレクリエーションの場、四季の美しい景観など、文化的価値という面でも大きな恩恵をもたらしてくれます。このような自然の恵みを「生態系サービス」といいます。日本でもとりわけ自然環境が豊かで、農林水産業の拠点でもある北海道は、こうした自然の恵みに支えられて成り立っています。北海道の生物多様性を守ることは、私たちの暮らしの基盤を守るだけでなく、地域の伝統や文化を大切に、安全で豊かな生活を営んでいくうえで欠かせないことなのです。



いま、北海道の生物多様性を守らなければ。

しかし、近年、北海道の生物多様性にも危機が迫っています。その原因の一つは、人間活動や開発によって生態系が破壊され、野生動植物の種の減少・絶滅が進んだこと。また、農林業被害などで社会問題となっているエゾシカの急増は、人間と自然との関係が変化したことが大きな原因とされています。一方で、もともと北海道にいない生きもの(外来種)を人間が持ち込んでしまったために、昔から北海道にいた生きもの(在来種)が影響を受け、地域の生態系が破壊されることもあります。さらに、地球温暖化による気候変動も、生きもの暮らしに変化をもたらす、生物多様性の保全に大きな影響を与えています。こうした危機から北海道を守るために、私たちはいま何をしなければならないのでしょうか。

全国初の条例により、取り組みを進めます。

北海道の生物多様性の保全と持続可能な利用を進め、次の世代に引き継いでいくために、道はことし4月、全国に先がけて「北海道生物の多様性の保全等に関する条例」を制定しました。条例では、希少野生動植物の保護のほか、外来種による影響の防止、問題のある餌付け行為の防止などが示されています。道は、これらの取り組みを道民の皆さんと一緒に進め、次世代に誇れる北海道の豊かな自然環境を育てていきます。

Q. 知ってる? 在来種? 外来種?

答えは中面左下に

絶滅の恐れのある北海道の生きものたち

●希少な野生動植物を守ろう

北海道には、本州以南では生息しない北方系の野生動物や北海道特有の自然環境でしか生育しない植物などが見られます。その中には、開発や乱獲、盗掘などさまざまな人間活動の影響や生息環境の悪化により、種の存続が危ぶまれている生きものもいます。

- 特**に保護する必要のあるものを「指定希少野生動植物種」に指定(現在は植物23種、昆虫5種)。これらの採取などを禁止し、生息環境を保全します。
- 「**特定希少野生動植物種**」(現在は植物7種)を販売するには、事業者の登録が必要です。

こうした野生動植物の現状を把握し、今後の保護活動に役立てていくために、道は「北海道レッドデータブック」を作成しています。これは北海道内で絶滅の恐れのある野生動植物の情報を取りまとめたもので、ホームページで閲覧できます。地域で取り組む保護活動などにご活用ください。

北海道レッドデータブック

お花畑の再生活動でアポイ岳の環境を次世代へ。



アポイ岳ファンクラブ(緑似町) 事務局 田中 正人さん



5台目で進められるお花畑の再生実験

約80種の高山植物が生育するアポイ岳は、希少な野生動植物の宝庫です。しかし、大量盗掘の発生を機に地元有志が立ち上がり、1997年に「アポイ岳ファンクラブ」を結成。盗掘防止パトロールなどにより、盗掘は激減しましたが、地球温暖化など環境の変化のせいで、高山植物は以前のように増えませんでした。そこで2005年からは、当クラブと町、研究者などで結成した「アポイ岳再生委員会」の活動として、お花畑の再生実験に取り組んでいます。高山植物の苗を育てて現地に植え戻す地道な活動ですが、アポイ岳のすばらしい環境を次世代に残すことが私たちの役割だと考えています。

生物多様性を 守るために

生物多様性の保全に関する道の考え方と条例のポイント、地域で進められている取り組みについてご紹介します。

▶特集に関するお問い合わせは、道庁生物多様性保全課 ☎(011)204-5203

北海道生物の多様性の保全等に関する条例

生態系に影響を及ぼす外来種

●外来種を入れない、捨てない、扱げない



外来種アライグマの影響が深刻

もともと北海道にいなかった野生生物で、人間によって持ち込まれたものを「外来種」といいます。

その一例として、近年ではアライグマが野生化して全道で急増し、農業被害の増大や生態系への影響が報告され、人間への病気の感染も心配されています。そこで道内では、年約6,500頭(2011年度)を捕獲するなど、防除活動が進められています。

こうした北海道の外来種は約860種にのぼり、道がまとめた「北海道ブルーリスト2010」で詳しい情報を公表しています。

外来種による被害を防ぐためには、「道内に入れない」「ペットを自然の中に捨てない」「他の地域に扱げない」ことが重要です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

北海道ブルーリスト

- 条例ワンポイントメモ** 外来種のうち、生物多様性に大きな影響を及ぼすものを「指定外来種」とし、野外に放したり植えたりすることを禁止します(指定対象の検討は今後行います)。



こし5月に「えごりん村」で行われた捕獲イベント

健康な食への願いから、外来種の捕獲活動を実践。



高田 あかねさん

全国に外食チェーンを展開する当社が、安全・安心な食へのこだわりから進めているのが、生物多様性の保全活動。その一例として2005年から毎年、外来種セイヨウオマルハナバチの捕獲イベントを行っています。このハチは、トマトなどのハウス栽培の受粉作業用に輸入された生物ですが、花に穴を開けて蜜を盗むために植物の受粉を邪魔したり、野外で繁殖して在来種のハチを減少させるなどの影響を道内に与えています。

契約農場では、セイヨウオマルハナバチを使わない受粉方法でミニトマト栽培を実践。こうした取り組みを通じて、環境に配慮した健康な食をお届けしたいと願っています。

道では、道内500人以上の登録ボランティア「セイヨウオマルハナバチマスターズ」を中心に、捕獲活動に取り組んでいます。

セイヨウオマルハナバチ 北海道

調査研究をもとに 将来を見すえた 対策の充実を。



北海道立総合研究機構 環境科学研究センター(札幌市) 西川 洋子 研究主幹



道の生物多様性の保全に関する調査研究として、希少種や外来種の実態を知るためのモニタリング調査に取り組んでいます。

こうした調査のねらいは、野生動植物の現状や生態を具体的に把握することによって将来の状況を予測し、行政上の対策づくりに役立つ基礎資料を得ることにあります。自然環境はさまざまな要因でバランスを崩しやすく、私たちの暮らしとも密接に関わり合っています。継続的な調査研究をもとに将来を見すえた対策を充実させていくことが、北海道の生物多様性の保全につながると考えています。

お知らせ！ 赤れんが

道からのお知らせです。お問い合わせは ▶マークの窓口、またはホームページへ。

北海道警察官募集

現在、受験申込書を配布しています

北海道の安全と安心を、情熱と正義感で守る警察官を募集します。

●平成25年度第2回採用試験日程

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 受験申込書 受付期間 | 8月7日(水)～8月28日(水) ※電子申請は8月23日(金)まで |
| 1次試験日 | 9月22日(日) |
| 2次試験日 | 10月下旬～11月上旬 |

●試験区分

| 試験区分 | A区分 | B区分 |
|--------|---------------------------------|-----------------|
| 学 歴 | 大学等卒業(卒業見込みを含む) | A区分以外の者 |
| 採用予定人員 | 男性70名 女性10名 | 男性130名 女性35名 |
| 年 齢 | いずれも昭和56年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方 | |

●受験申込書請求・各種問い合わせ 北海道警察本部 採用センター

フリーダイヤル 0120-860-314
ホームページ http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/

北海道警察 採用
▶道警本部採用センター ☎(011)251-0110(内線2656・2657)

ホッカイドウ競馬開催中 門別競馬場でナイトレースを楽しもう

11月14日までの毎週水・木・木曜日、日高町の門別競馬場ではナイトレース「グランシャリオナイト」を開催中です。名物のとねっこジンギスカンが食べられる飲食店なども充実。JR札幌駅から無料送迎バス(予約制)も運行しています。また、門別競馬場や場外発売所Aiba(アイバ)では、JRA馬券の発売も行っています。この夏、熱いレースをお楽しみください。

興奮と感動のナイトレース
▶北海道軽種馬振興公社 ☎(01456)2-2501
▶道庁競馬事業室 ☎(011)204-5377

道央自動車道 新千歳空港インターチェンジ 8月3日(土)15時開通

道央自動車道と新千歳空港を直結するインターチェンジが開通します。苫小牧東ICより下り8km、千歳ICより上り4kmに位置しており、新千歳空港への利便性向上が期待されます。また、この事業は地域活性化インターチェンジ制度を利用したもので、北海道の玄関口である新千歳空港を核として、北海道の活性化を支えていく取り組みです。ぜひご利用ください。

▶道庁道路課 ☎(011)204-5544

7月は不正軽油防止強化月間です 作らない・売らない・買わない・使わない

軽油には、軽油引取税が課税されますが、この税を免れるため、灯油や重油を混ぜるなどした不正軽油を販売・使用する脱税事案が絶えない状況にあります。不正軽油は、税負担の公平性を損なうだけでなく、環境への影響が懸念される問題でもあります。不審な軽油の情報は、不正軽油ストップ110番までお寄せください。

不正軽油ストップ110番 ☎0800-8002-110(フリーアクセス)
▶道庁税務課 ☎(011)204-5062

自衛官になるという、選択肢 さまざまな募集種目があります

防衛大学校学生、防衛医科大学校学生、航空学生、一般曹候補生、自衛官候補生などのさまざまな種目を募集しています(採用試験は9月以降となります)。詳しくはお近くの自衛隊地方協力本部へ早めにお問い合わせください。

●お問い合わせ先
札幌地方協力本部 ☎(011)631-5472
函館地方協力本部 ☎(0138)53-6241
旭川地方協力本部 ☎(0166)51-6055
帯広地方協力本部 ☎(0155)23-5882
▶道庁市町村課 ☎(011)204-5152

献血にご協力 あなたの協力が命を救います

病気やけがの治療のために必要な血液は、皆さんの献血で支えられています。しかし、血液は人工的に作ることで、長い期間保存もできないので、輸血に必要な量を確保するためには、多くの方からの定期的な献血が必要となります。献血は、献血ルームや献血バスなど、さまざまな場所で受け付けていますので皆さんのご協力をお願いいたします。

献血キャラクター **ひんげっちゃん**
▶道庁医療課 ☎(011)204-5265

●函館美術館 コトリロ展

パリの街並みを描いた画家モーリス・ユトリロの生誕130年目にあたり、42点の日本初公開作品を含む76点を紹介します。
●期 間 / 7月24日(水)～9月8日(日)
●休 日 / 月曜日
●時 間 / 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
●観覧料 / 一般1,000円、高校・大学生600円、小・中学生300円
▶道立函館美術館 ☎(0138)56-6311

耳より！ 総合振興局 & 振興局

道内各地の話題をお届けします。

留萌振興局 平成25年度増毛山道体験トレッキングを開催。

江戸末期、増毛の漁場を請け負った商人の伊達林右衛門が開削した増毛山道。やぶの中に埋もれていた別荘・岩尾間16kmを留萌振興局とNPO法人増毛山道の会が復元しました。当時の駅遺跡や電信柱、石積みなどの歴史遺産や暑寒別天売焼尻国定公園の大自然を満喫するガイド付きトレッキングを開催しています(16kmと5kmコース。先着順)。詳細は増毛山道の会ホームページか、お気軽に環境生活課までお問い合わせください。

増毛山道の会 ▶環境生活課 ☎(0164)42-8437

檜山振興局 江差線の最後の夏を、記録と記憶に残そう。

長い間、地域の交通を支えてきたJR江差線の木古内・江差間は、2014年5月12日に廃止が予定されています。この江差線を、鉄道ファンをはじめ多くの方々の記憶に残してもらうため、檜山振興局では江差線の情報をホームページなどで紹介しています。木古内・江差間の4.2.1kmには10の駅があり、それぞれ愛されてきた風景があります。この夏、ぜひ訪れてみませんか。

檜山振興局 江差線 ▶地域政策課 ☎(0139)52-6481

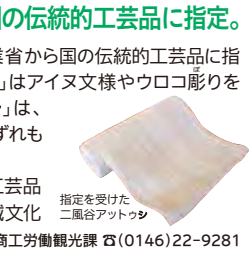
日高振興局 アイヌ工芸品が、国の伝統的工芸品に指定。

平取町の沙流川流域に伝わる工芸品が、経済産業省から国の伝統的工芸品に指定されました。指定を受けたのは2点で、「二風谷イタ」はアイヌ文様やウロコ彫りを施した木製のお盆です。もう1点の「二風谷アットゥシ」は、オヒョウなどの樹皮から作った糸を織った反物で、いずれも100年以上の歴史があります。北海道初となる今回の指定をきっかけに、アイヌ工芸品が後世に引き継がれていくよう、技術の伝承や、地域文化の発信などの事業を支援していきます。

日高振興局 ▶商工労働観光課 ☎(0146)22-9281



一般開放していない山道を特別にガイド



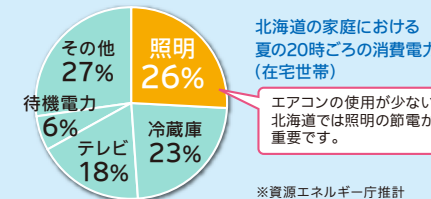
指定を受けた二風谷アットゥシ

節電・省エネへのご協力のお願い

ここの夏も、無理のない範囲での節電に、ご理解とご協力をお願いします。

次の期間・時間帯の節電をお願いします。

7月1日(月)～9月30日(月)平日9～20時
※8月13日(火)～15日(木)を除く
ご家庭では、特に電気使用量が増える夕方以降(18～20時)のご協力をお願いします。



「節電メニュー」を参考に、節電へのご協力をお願いします。

| 節電メニュー | 節電効果(削減率) |
|--------|-----------|
| 照明 | 7%※ |
| 冷蔵庫 | 2% |
| テレビ | 2%※ |

節電効果(削減率)は、在宅家庭のピーク時の消費電力(約700W)に対する削減率の目安(資源エネルギー庁推計)

●エアコンを使用される家庭の場合は、室温設定の変更が効果的です。(例 設定温度を28℃とする。)

日々の暮らしの中で省エネ・節電に取り組む「ほっかいどう省エネ35キャンペーン」も展開中です。35キャンペーン
冷房に頼らず、自然と調った北海道らしい「ナチュラルクールビズ」を実践しましょう。
●省エネ家電への買い替えや、LED照明への交換も節電・省エネに有効です。

熱中症にご注意！
屋内でも熱中症にかかる場合があります。室温や水分補給に十分留意願います。

▶節電に関するお問い合わせ 道庁環境・エネルギー室 ☎(011)204-5361
▶家庭の省エネに関するお問い合わせ 道庁地球温暖化対策室 ☎(011)204-5189

ちよびHRO 飯は朝早く1日分を炊いて、冷蔵庫で保存すると3%の節電効果!

彫刻家ビッキの創作意欲を刺激した森や空や川があるエコミュージアム。

つながる・ひろがる物語

観光編

普段は立ち入り禁止のダムの建設現場や橋の主塔も見学できる。

音威子府村 エコミュージアムおさしまセンター BIKKYアトリエ3モア【音威子府村】

観光 × アート 異業種や多種多様な人材が手を結ぶことで新たな観光資源を生み出す取り組みをご紹介します。

観光 × 公共施設 公共施設見学ツアー【室蘭市など】



ビッキのアトリエだったミュージアム

悠々と流れる天塩川と原生林に恵まれた音威子府村に移り住み、廃校となった旧箴島小学校をアトリエに制作活動を続けていた彫刻家の砂澤ビッキ(1931-1989)。

エコミュージアムでは、100点以上の作品を展示するだけでなく、村内に研究林を持つ北海道大学と協力して、倒れた木も自然のままに残す森の中や、ビッキの創作意欲をかきたてた場所を案内するエコツアー「ビッキの木の集い」を毎年開催。また、おといねっぴ美術工芸高等学校の生徒が週末のボランティア活動に参加し、若きアーティストを育てる空間としても活かされています。

道路や河川、ダム、港などの整備や管理を行う北海道開発局が、公共施設の役割をより多くの人々に理解してもらうために、旅行者と連携して見学ツアーの事業化を本格的に開始しました。

今年度の見学ツアー対象施設は、夕張スーパーダム、室蘭市の白鳥大橋、苫小牧港、十勝岳火山砂防情報センターなど全部で41カ所。ダムの点検通路や橋のケーブルを吊る主塔など、普段は入れない場所も現場を管理する職員が解説しながら案内します。大人の社会見学ツアーが人気を集める中、観光資源としても注目されています。

普段見られない白鳥大橋の主塔からの光景

8月のライダーまつりには、8人しか住んでいない箴島地区に120人ほどのライダーが集まり、村民と飲み食いしながら、ビッキの世界観に触れて盛り上がります。

ボランティア活動をする生徒にとって、作品や来館者と接することも学びの場。ビッキが20代だったころの作品には、より身近な存在として刺激を受けるようです。道外からも若いアーティストが移り住むような創作の地として環境づくりをするのが、これからの夢です。

▶お問い合わせ エコミュージアムおさしまセンターBIKKYアトリエ3モア ☎(01656)5-3980

ライダーたちも全国各地から口コミでやってきます。



音威子府村 地域振興室 室長 宗原 均さん

開発局では広報活動の一環として、以前から地域の自治体や学校、各種団体を対象に公共施設の現場見学会を行ってきました。最近、個別の要望も増えてきたことから、旅行者との連携を考えました。期待しているのは、私たちが思いつかないようなツアーの企画力。

昨年行われたモニターツアーでは「普段は見られない場所に入れてよかった」「建設方法に感動した」など、参加者からの反応も好評でした。

▶お問い合わせ 北海道開発局開発調整課 ☎(011)709-2311(内線5477)

公共施設の役割を楽しみながら知ってください。



北海道開発局 開発調整課 開発専門官 須藤 慎一さん

※ピーク時消費電力に対する削減率の目安 (資源エネルギー庁推奨)

※この広告は、広告主の責任において北海道に掲載しているものです。

すくすく北のキッズ

地域の子どもがすくすく育つよう、がんばっている活動をご紹介します。

倶知安町に昔からいたホテルを復活させるために、ボくらができることはなんだろう。

羊蹄山麓森あそび隊ホタルレンジャー

倶知安町



ヘイケボタル(在来種)の幼虫を放流する子どもたち

「地元にはいたホテルを昔のように復活させたい」と町有林で幼虫探しから始め、平成21年に環境省「こどもホタルレンジャー」に登録、地元の小・中学生が中心となって活動している取り組みです。

町内にある池に幼虫を放流し、エサを与えて飼育する人工繁殖と人間の手を加えない自然繁殖のようすを観察しながら、水辺の調査や外来種の植物駆除も行っています。活動を始めたころは一晩で1匹しか見られませんが、最近は20~30匹ほど観察できるようになりました。

▶お問い合わせ 百年の森公園(管理人) ☎(0136)23-0154

おいしい北海道プレゼント!



エゾ鹿スープカレー

北泉開発(株)釧路市)の「エゾ鹿スープカレー」(4パック)をプレゼント!エゾシカ肉と野菜をじっくり煮込んだまるやかなコクと風味です。

抽選で30名様

▶お問い合わせ ☎(0154)66-3508

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

アンケートに答えて道産品を当てよう!

次のアンケートにお答えください。

広報紙「ほっかいどう」7月号はわかりやすかったですか?
①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい

●応募方法: アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先

ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課 「おいしい北海道プレゼント!」係

パソコン 広報紙「ほっかいどう」 検索

携帯サイト

●応募期限: 8月2日(金)必着

応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

※5月号掲載の「北のハイグレード食品」は、北海道とさんごプラザ札幌店(JR札幌駅西通り北口)などでお買い求めいただけます。



| | | | |
|----------|------------|------------|------------|
| 北海道の人口 | 総人口 | 男 | 女 |
| 平成25年3月末 | 5,444,307人 | 2,575,066人 | 2,869,241人 |
| 前年同月比 | 29,909減 | 16,995減 | 12,914減 |

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は下記からアクセスできます。

広報紙「ほっかいどう」

検索

次号のお知らせ
9月号は9月11日(水)から配布予定です。



この印刷物は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お知らせ 地デジデータ放送で「道政情報」発信中! HTBを選局→リモコン【d】ボタンを押す→「北海道庁からのお知らせ」を選択→【決定】ボタンを押す。

広告